

# 目次

## 2 社長メッセージ

## 3 What is NEC

NECは、「国連グローバル・コンパクト」に署名しています。



### サステナビリティ経営

- 5 NECのサステナビリティ経営
- 8 ESG視点の経営優先テーマ「マテリアリティ」
- 11 ESGに関する目標、成果・進捗、達成度
- 15 マテリアリティに関する有識者との対話
- 16 Purpose経営におけるサステナビリティ推進について **Dialogue**
- 17 人権の尊重
- 20 イノベーション・マネジメント
- 24 多様なステークホルダーとの対話・共創

### 環境

- 26 “環境貢献事業の創出”に向けて、今NECが取り組むべきことは何か **Dialogue**
- 27 2020年度目標に対する達成状況
- 28 中長期目標
- 33 環境方針とマネジメント
- 38 気候変動への対応
- 43 水リスク管理と水資源の有効活用
- 44 資源循環と汚染防止への取り組み
- 49 生物多様性への取り組み
- 50 環境負荷の全体像

### 社会

- 52 インクルージョン&ダイバーシティ
- 56 人材開発・育成
- 59 多様な働き方への環境づくり
- 61 安全と健康
- 64 AIと人権
- 65 個人情報保護、プライバシー
- 68 情報セキュリティとサイバーセキュリティ
- 71 品質・安全性の確保
- 73 CS(顧客満足)への取り組み
- 74 地域社会との連携

### ガバナンス

- 77 コーポレート・ガバナンス
- 78 コンプライアンスとリスク・マネジメント
- 81 税務に対する考え方
- 82 公正な取引の推進
- 83 事業継続
- 85 サプライチェーン・マネジメント
- 88 サプライチェーン上の人権デュー・ディリジェンス強化に向けて **Dialogue**

### 付表・データ集

- 90 データ集
- 96 第三者保証
- 98 社外からの評価
- 100 対照表：GRI(Global Reporting Initiative) Index
- 102 対照表：国連グローバル・コンパクト
- 103 対照表：ISO26000
- 104 対照表：SASBスタンダード

**Dialogue** の詳細はP.15「マテリアリティに関する有識者との対話」をご覧ください。

## 情報開示方針

### 基本方針

NECが社会価値創造に向けた事業活動を進めるにあたって、ステークホルダーのみならず、さまざまなコミュニケーションは、企業の社会的責任を果たすという観点だけでなく、お客さまや社会の本質的な課題を理解する機会となる点でも重要な取り組みです。Purpose(存在意義)にも掲げる「Orchestrating a brighter world」の“Orchestrating”には、こうしたステークホルダーとの対話・共創を進めていくという思いを込めています。

サステナビリティWebサイトおよびサステナビリティレポート(PDF形式)は、そのコミュニケーションのためのツールとして、サステナビリティに関連する取り組みと成果をESG視点に分類して開示しています。また、「NEC統合レポート」では、マテリアリティへの取り組みを中心としたサステナビリティレポートのエッセンスと、財務活動報告である有価証券報告書のエッセンスを取り入れて紹介しています。

### 情報対象範囲

原則として、日本電気(株)および国内外の子会社、関連会社を含む情報を開示しています。なお、「当社」は日本電気(株)のみに適用する情報です。

### 開示種類

#### ・サステナビリティWebサイトおよびサステナビリティレポート(PDF形式)

サステナビリティWebサイトでは、サステナビリティに関する取り組みの最新情報を随時公開しています。また、GRIをはじめとする国際的イニシアティブとの整合のため網羅性を重視し、ESG調査機関、メディア、大学、NPO・NGOなどサステナビリティ専門家の方々のニーズにも対応しています。

サステナビリティWebサイトに掲載している「サステナビリティレポート」(和文)は年次報告書として毎年PDF形式で公開しています。前回の和文レポートは2020年8月に発行しました。

#### ・NEC統合レポート

社会とNECの持続可能な発展に向けたNECの経営戦略を、財務・非財務の双方から説明しています。2013年度より、従来の財務報告を中心としたアニュアル・レポートと非財務情報のハイライトを統合して「アニュアル・レポート」として発行してきましたが、2018年7月にマテリアリティを特定したことを機に「統合レポート」と改称しました。

### 参考としたガイドライン

国際的なイニシアティブとの整合を目指し、以下のガイドラインを参考にサステナビリティの取り組みを報告しています。

- ・GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン スタンダード
- ・国連グローバル・コンパクト
- ・ISO26000
- ・価値共創ガイダンス
- ・SASB スタンダード

### 第三者保証

☑を付している実績については、第三者による保証・検証を受けています。